

事業計画書

令和5(2023)年4月1日から 令和6(2024)年3月31日まで

日鉄ソリューションズ株式会社

1. 基本事項および事業の目的

【基本事項】

区分	内容
法人形態	株式会社
名称	日鉄ソリューションズ株式会社
設立時期	1980年10月1日
事務所所在地	東京都
代表取締役	玉置 和彦
資本金	129億5,276万3,000円
主な株主	日本製鉄株式会社

【事業の目的】

一般財団法人日本医師会医療情報管理機構が実施する認定事業の再委託先として、データセンター内区域ファシリティ管理（ラック内部の機器を除く）を基本とするデータセンターサービス、及びデータセンター内区域で扱うシステムに関するシステム導入・開発を提供する。

超高齢社会を迎えた我が国において、可能な限り網羅的なデータに基づく合理的な医療政策の実施、創薬、医療機器、医療・健康サービス産業等の推進について、データ収集およびデータ保存のためのデータセンターサービスを以って貢献する。

【事業実施体制】

医療機関、健診機関、介護事業所等のデータ提供者からの医療情報収集、匿名加工、利活用者への匿名加工医療情報提供等の一部は、ICIにて受託する。認定受託事業者の日鉄ソリューションズでは、ICIからの再委託として、データセンターサービス等を提供する。

< 事業実施体制図 >

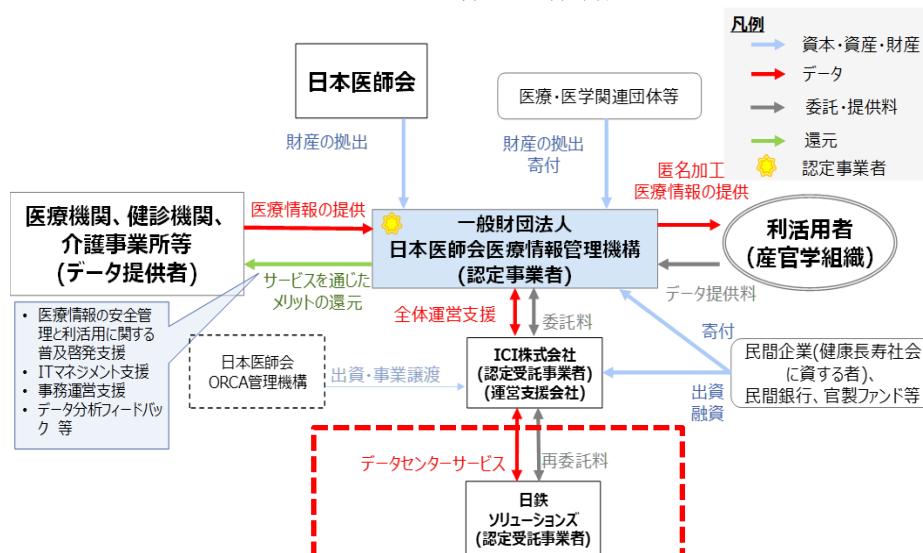


表 委託業務範囲

日鉄ソリューションズ株式会社	<p>【データセンターサービス】</p> <ul style="list-style-type: none">・データセンター内区域ファシリティ管理（ラック内部の機器を除く） <p>【システム導入・開発・運用支援】</p> <ul style="list-style-type: none">・データセンター内区域及び高セキュリティエリアのセキュリティ対策の実施・データセンター内区域及び高セキュリティエリアで扱うシステム導入・開発・ICIの指示・監督に基づくシステム維持改善運用、情報セキュリティ維持改善運用 <p>【匿名加工支援】</p> <ul style="list-style-type: none">・ICIの指示・監督に基づく認定事業医療情報等の整理、加工、提供、消去の代行及び記録の作成・次世代医療基盤法ガイドラインに沿った匿名加工支援等
----------------	---

2. 事業計画の詳細

【人員計画】

本事業はデータセンターサービス、システム導入・開発・運用支援並びに匿名加工支援に関する業務を想定している。特にシステム導入・開発・運用支援及び匿名加工支援についてはシステムエンジニアが対応するため、それぞれの専門分野ごとのエンジニアを配置する計画としている。またデータセンターサービスを始め、専門的な見地からセキュリティ対策を講じる情報セキュリティ責任者・管理者、及び各エンジニアを管理するシステム管理者を配備する計画としている。なおICIから受託する範囲に応じて稼働率が変化することも踏まえ、予定する人員計画の中で受託規模に応じた柔軟な対応が図れるよう、対応余力を持った計画としている。

職種	2023年度
情報セキュリティ責任者	1人
上級情報セキュリティ管理者	1人
情報セキュリティ管理者	1人
システム管理者	1人
エンジニア（マネージャ）	1人
エンジニア（セキュリティ・インフラ）	2人
エンジニア（匿名加工）	1人
人数（各年度末）	8人

【設備計画】

下記対象物件をデータセンターサービスとして提供する。

- ① 設置場所 : 日鉄ソリューションズ 第5データセンター
 ② 構造 : 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階建
 ③ 所在地 : 東京都三鷹市下連雀5-6-1 日鉄ソリューションズ株式会社三鷹ビル
 ④ 対象物件 : 19インチラック×1
 ⑤ ラック仕様 :

サイズ	W700 × D1,000 × H2,000
ユニット数	42U
皮相電力	6KVA
電源回路	100V30A × 4回路
付属設備	なし

初年度は最新鋭のデータセンター（※1）におけるデータセンターサービス（ハウジング）として、2ラック提供から計画する。必要に応じて、今後の規模拡大に伴うラック拡張を実施する。

当該データセンターには、およそ1,300のラックを完備しており、現時点では余力のある状況にあり、設備の増強・拡張を見込む場合においても支障はないものとする。

なお、データセンターサービスと合わせて、データ収集およびデータ保存のため、以下のシステム導入・開発（インフラ/セキュリティ構築支援）を実施する想定である。

- ・データ蓄積基盤構築支援
- ・運用監視基盤構築支援
- ・データバックアップ基盤構築支援

※1. 次世代型DC“第5データセンター”の特徴は以下の通り。

- ① 都内最高レベルのロケーション

- ・安全な立地、都心から1時間以内、震災時も徒歩圏（東京三鷹）でのアクセスを確保
- ② 最新の免震システム
 - ・日本データセンター協会のファシリティスタンダードが推奨するPML算定手法を使用
 - ・PML0.2%を達成
- ③ 従来の2～3倍の電力供給能力
 - ・標準6KVA/ラック(10～20KVAに対応可能)
- ④ 国内最高レベルの床耐荷重能力(2000kg/m²)
- ⑤ 最新の冷却システム、プレナムチャンバー効果、熱気流シミュレーション、無停止冷却
- ⑥ 非常用発電機72時間対応、重油44万ℓの備蓄
- ⑦ 太陽光発電、壁面緑化、LED照明、雨水利用、他省電力対策
- ⑧ 最新のセキュリティシステム
 - ・7段階のセキュリティレベル設定とレベル毎のアクセス制御
 - ・24時間365日の有人警備、ICカード/生体認証、共連れ防止、赤外線センサー/無死角監視カメラ